

産業能率大学 情報マネジメント学部

実践ゼミⅡ	履修年次	3
	単位	4
石塚 浩美、伊藤 泰雅、江口 潤、小田 実、小野田 哲弥、勝間 豊、川野邊 誠、北川 博美、古賀 暁彦、椎野 睦、柴田 匡啓、友寄 隆哉、中川 直樹、橋本 諭、松岡 俊、三浦 智恵子、矢田 木綿子	配当期	前
	授業方法	演習 / 対面
授業の内容		
<p>[授業の概要]</p> <p>本授業では、各ゼミのテーマに基づき、各担当教員が「実践ゼミ」充実に相応しい授業設計を行い、提示する。履修者には、それぞれの役割認識のもと、活動に主体的に参画し、活動の担い手としての発言と行動を期待したい。各ゼミの活動は、テーマこそ違え、極めて多岐に亘る活動が予測されるため、途中で先を見失わないためにも、常に PDCA を回しながら、何が不足しているか、どこに問題があるかを常に把握できる仕組みをゼミ内で共有できることも重要なことと考える。その上で、ゼミ活動に参画する学生達が有機的に繋がり、活動に取り組むこととする。</p> <p>また、希望する卒業後の進路に向け、準備を早めに始め、目標達成ができるよう、進路支援を十分に活用されたい。そして、各々が本学部での学びの集大成として、充実のゼミ活動に力を注ぎ、担当教員やゼミの仲間との協働を通して、価値ある成果を得ることを大いに期待する。</p>		
この科目の到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミのテーマに基づいて課題を設定し、積極的に活動に取り組み、その成果を発表することができる。 ・ゼミの活動を通じて、学んだ知識および技能、培ったマネジメント力を協働的に実践することができる。 ・ゼミ活動において、プロジェクトマネジメント力を発揮し、立案した計画を円滑に進め、成果を得ることができる。 ・ゼミの活動を通じて、社会との関わり、社会での役割を考え、自己のキャリア開発に役立てることができる。 		
成績評価の方法		
出席・参画度・授業外学習・取組み姿勢・活動プロセス・活動成果・提出物・発表について、総合的に評価する。		
週	授業項目	
第1週	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミのオリエンテーション ゼミテーマの理解と活動内容・方法の確認 年間計画立案、今後の活動の準備 ・進路(就職)支援: 初回ガイダンス 今期の進路(就職)支援についての確認 	
第2～13週	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ活動の実施、振り返り、改善 各ゼミのテーマに沿って、外部団体との連携活動、PBL 活動、学術研究、テーマ研究等々を計画に従い PDCA を回す 	
<第8～11週のうち最大2週>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路(就職)指導: 『ゼミ別三者面談①』 学生、担当教員、湘南キャリアセンター職員の三者で、進路(就職)に関する面談を行う。学生は、事前に「進路登録票」を作成し、それに基づき、助言や指導を受ける。 	
<第9～13週のうち1～2週>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ゼミのテーマに沿って成果発表を実施 各ゼミのテーマに沿い、成果発表を行い、成果を共有する。発表要領については、各ゼミで確認すること 	
第14週	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ活動のまとめと夏期～後学期の活動計画の確認 ・『進路(就職)指導: 夏休み直前講座(約30分)』 夏のインターンシップ等に関する情報提供と夏休みの過ごし方 	